

柏市民活動ニュースレター

2019年4月発行 第12号

2019年度 柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）交付団体決定！

柏市では、設立5年未満の市民公益活動団体に対し柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を交付し、その活動を支援しています。

平成31年度の交付団体は、審査会による審査を経て、以下の16団体に決定しました。皆様のご活躍、ご発展を期待しています。

（担当：砂原成治）

	団体名	事業名
1	Kashiwa Prog-Science	地域におけるICTの学び推進事業
2	チーム・バンバン	気軽に参加できるイベントを企画・広報し、「顔見知り」が集い合う事業
3	セバシナ研究所	里山活動者と大学等の専門家による課題解決コラボを構築
4	地域パートナー推進協議会	笑顔のお節介（地域パートナー推進）事業
5	耳守研究会	子供たちの小さな耳を守る（児童の騒音難聴を保護する環境を作る）
6	TENROKU '19	太鼓演奏で地域を明るく元気にする事業
7	柏観光プロダクション	『フットバス・ツアー』による地域の魅力再発見
8	ウイメンズブレイクタイム	女性ガン患者のためのホームページの修正・更新およびチラシ製作
9	ケアカフェかしわ実行委員会	医療・介護・福祉の周知活動及び専門職と市民の交流促進事業
10	ママコミュSMILE:)	子育て世帯対象の防災意識・知識の普及活動
11	まつばスマイルネットワーク	子育て世代への福祉的支援と子どもたちの学習支援事業
12	ドリームハーモニー会	高齢者組織などへの音楽活動
13	幸せのサポート	人が生きるための幸せな環境を考え、それを実現することを目的とした活動
14	柏健ソーラン倶楽部	市民の健康増進（転倒・ロコモ・介護予防）事業
15	東葛北部認定栄養ケアステーション	食育・健康講座の開催事業
16	スポーツを通じた健康推進を普及する市民の会	シニア層の健康増進および地域デビューの促進事業

目次

- P.1 2019年度柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）交付団体が決定！
- P.2 報告 柏市民活動講座&柏市民活動交流サロンを開催しました【12月～3月】
 - 柏市民活動講座 参加したくなる！楽しいイベントを開催しよう！（12/24）
 - 街のパブリックスペースの利活用と市民活動（3/21）
 - 柏市民活動交流サロン 植物病を学んで、栽培に活かしましょう！（1/19）
 - ワカモノ×シニア＝カシワノミライ（3/9）
- P.6 報告 K I K A I 新たな柏のチャンスを探求する次世代実験コミュニティ誕生（協働推進課・新企画）
- P.7 これからの“協働のまちづくり”について考えよう
～現在、市の「協働の推進」に関する取り組みの見直しを始めています～
- P.8 柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」を活用してみませんか？

市民活動講座 参加したくなる！楽しいイベントを開催しよう！

柏市民活動講座「参加したくなる！楽しいイベントを開催しよう！」では、まちづくりコンサルタントとして、市民参加のまちづくりワークショップの企画・運営、ファシリテーションなどを担う(株)石塚計画デザイン事務所の千葉晋也氏を講師にお招きし、イベントの企画や広報、運営上の留意点など、受講生の皆さんも手を動かして実際に企画を考えながら学びました。

千葉氏のわかりやすい資料と豊富な事例による大変充実した講義内容で3時間があっという間でした。受講された団体の今後のイベントがどう変わるか楽しみです。

参加者の感想(当日アンケートより一部抜粋)

- ・資料が豊富で分かりやすい、会に持ち帰って共有しやすいのがとてもありがたかったです。
- ・具体的内容、事例研究で大変参考になりました。“受ける”企画作りの難しさが分かりました。
- ・自分の活動、ちらし作成の見直しにとっても有意義な時間でした。

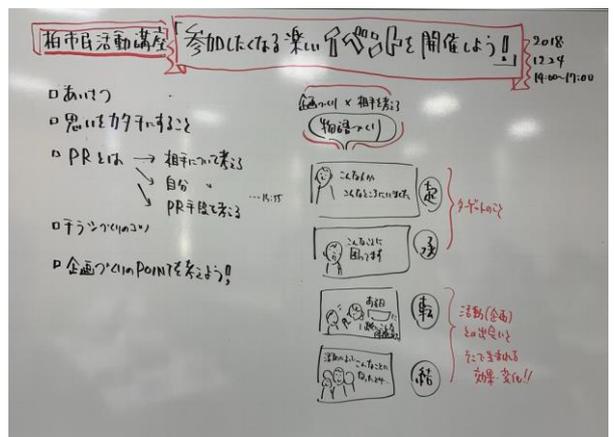
※アンケート集計の結果、**参加者全員のみなさん**が、講座の内容について「**有意義だった**」との回答でした。



講座の様子・その1：参加者全員が千葉氏の講義に耳を傾けます。



講座の様子・その2：実際に企画を考え、ひとりひとりアドバイスを頂きました。



(右図) 当日の講座の内容

柏市民活動講座「参加したくなる！楽しいイベントを開催しよう！」

日時 12月24日(月) 14:00~17:00

講師 千葉晋也 氏 (株)石塚計画デザイン事務所 代表取締役(共同代表)

場所 パレット柏ミーティングルーム

市民活動講座 街のパブリックスペースの利活用と市民活動

■講座の概要

柏駅周辺においてパブリックスペースの興味深い利活用を仕掛けている柏アーバンデザインセンター（UDC2）副センター長の安藤哲也氏を講師にお招きして、「街のパブリックスペースの利活用の可能性」について学びました。

- ① 『柏セントラル グランドデザイン』におけるパブリックスペース活用の考え方
- ② 『ストリートパーティー』、『PUBLIC LIFE KASHIWA』の活動紹介
- ③ UDC2 の 2019 年度の活動方針

■真の公民連携を目指す

～公民学が境目なく繋がる～

真の公民連携を目指す		UDC2
・ 民間は	パブリックマインドを持ち、知恵を発揮してまちづくり事業を行い収益を上げる。そして、まちに再投資する。	
・ 公共は	パブリックマインドを持つ民間の動きを支援し、公共でなければならない役割をスピーディーにフレキシブルにしっかりと果たす。	
・ 公民学が	境目無く繋がり、手に手を携えて継続するまちを創り出していく。	

■UDC2 の 2019 年度の活動方針



UDC2 副センター長 安藤哲也氏



市民活動講座の様子



ストリートパーティーの様子



PUBLIC LIFE KASHIWA の様子

(担当：及川愛二)

市民活動交流サロン 植物病を学んで、栽培に活かしましょう！ (柏市コミュニティ植物医師の会)

■パレット柏 de 市民活動交流サロン『植物病を学んで、栽培に活かしましょう！』を開催！

1月19日(土)の午後、パレット柏で柏市コミュニティ植物医師の会主催の市民活動交流サロンを開催しました。テーマは「植物病を学んで、栽培に活かしましょう！」

＜柏市コミュニティ植物医師の会＞

当団体は、2014年4月に結成されたNPO任意団体であり、約120名の会員が、植物病に関する知識と技能を活かし、様々なボランティア活動を行っています。

■団体紹介、活動紹介のあと、ハーブティーを飲みながら、参加者同士の交流を楽しみました。

- (1) 団体の紹介
- (2) 植物病とは何か
- (3) 活動紹介
 - ① PG PALETTE 委員会
 - ② 菜園委員会
 - ③ マコモタケ委員会
 - ④ あげぼの山ハーブの丘委員会
 - ⑤ ハーブ薬草園委員会
 - ⑥ 酒井根圃場委員会
- (4) 休憩&ポスターセッション
- (5) 発生した植物病の質問タイム
花卉、野菜、樹木等、栽培で発生する病気のご相談をどうぞ
- (6) 参加者同士の交流タイム
ハーブティーを楽しみながら、参加者同士の交流を図りましょう

■参加者の声

- ① 参加者は、柏市在住の60歳代以上が中心
- ② 参加した動機は、「植物栽培の知識を深めたかった」「色々な人と交流したかった」など
- ③ 参加した感想は、「様々な活動を知って有意義だった」「植物栽培に関する知識が増えた」など



(担当：及川愛二)

市民活動交流サロン ワカモノ×シニア=カシワノミライ (かしわ協働まちづくりネットワーク研究会)

■パレット柏 de 市民活動交流サロン『ワカモノ×シニア=カシワノミライ』を開催！

3月9日(土)の午後、パレット柏でかしわ協働まちづくりネットワーク研究所主催の市民活動交流サロンを開催しました。テーマは「ワカモノ×シニア=カシワノミライ」

〈かしわ協働まちづくりネットワーク研究会〉
当団体は、かしわ市民大学「協働コーディネーター講座」の修了生が2016年5月に設立した市民公益活動団体であり、まちづくりの「シーズ」と「ニーズ」をマッチングする取り組みを進めています。

■テーマ『ワカモノ×シニア』のココロ

柏の市民活動は、時間に余裕のあるシニアが中心で、ワカモノ不足は多くの市民活動団体が抱える課題になっています。

そこで、私たちは、「ワカモノとシニアのコラボ」にこそ、柏の市民活動の「伸び代」があるのではないかと考え、本テーマを設定しました。

■交流サロンの流れ

- ①かしネットの活動報告
- ②ワカモノとシニアによる「私の市民活動」の紹介
柏観光プロダクション/こどもすぱーす柏/Balloon/柏市地域協働を考える会/SLF 農業部会(以上5団体)
- ③ワーク&交流タイム

■ワークショップで学んだ『ワカモノ×シニア』で大切なこと

- ◎相手を理解すること
 - ・ワカモノ、シニア共に相手の視点で考えてみることにより、相違を理解する必要がある。
- ◎モチベーションを高める
 - ・子育て支援など、ワカモノの実際の課題に対応する市民活動を、参加のきっかけにする。
- ◎繋がる仕組みづくり
 - ・イベントなどに参加し、互いを知る体験を通して仲間をつくる。
- ◎ワカモノの背中を押す
 - ・柏の魅力を理解する、暮らす場所を良くするなど「市民活動」への参加のきっかけをつくる。



5団体から「私たちの活動」の紹介



4つのテーブルに分かれてワークショップ



テーブルごとに
成果を発表



ミライのワカモノも参戦！

(担当：及川愛二)

報告 KIKAI 新たな柏のチャンスを探求する 次世代実験コミュニティ誕生（柏市協働推進課 新企画）

カシワワカモノプロジェクト（仮）は、35歳未満の柏の若者たちを中心に、昨年12月に「柏のために何かしたい」「恩返しがしたい」という想いを持つ若者たちが集い、若者自らの提案により、そこで繋がった高校生・大学生・社会人の有志を中心に、さらに話し合いを重ね、今後の進め方やありかたなどについて決定。3月24日のKick Off Eventで、新名称「KIKAI」を発表し本格始動しました。

「KIKAI」とは、読み（音）のとおり「機会（チャンス）」という意味と、「柏」のもうひとつの漢字「榧（かしわ）」を「木」と「解」に分けて「きかい」、また、「解＝答え」として、柏の中には新たなチャンスや答えがあるという意味が込められています。この取り組みは、柏の中に眠った機会を探し、そこから新たな価値を創り出すための若者を中心とした新しいコミュニティです。

■第1弾（平成30年12月1日）

柏に思いのある若者が約40名参加し、アイスブレイクのゲームや参加者の活動紹介、事前に行った若者へのヒアリング結果の発表を通して、若者たちはそれぞれの思いを語り合い、交流を深めました。



■第2弾（平成31年1月20日）

若者21名が参加し、そのうち4名からネーミングや今後の会の土台となるプラットフォームのプレゼンがありました。その後のグループワークでは、各グループで考えた4つのネーミングから、参加者の投票で1つを決定しました。



■Kick Off Event(平成31年3月24日)

「カシワワカモノプロジェクト（仮）」で繋がった若者たちを中心に、新プロジェクト名称「KIKAI」の発表や概要の説明、また柏市内外で活躍する若者4名のトークセッションなどを行いました。



カシワワカモノプロジェクト（仮）改め、KIKAIでは、これから様々なプログラムを通して、柏の若者たちと街を繋ぐ活動をしていきます。柏の若者たちも、皆様と一緒に街を盛り上げていきます。

（報告：柏市協働推進課）

これからの“協働のまちづくり”について考えよう

～現在、市の「協働の推進」に関する取り組みの見直しを始めています～

柏市では、平成 16 年に「市民との協働に関する指針」を制定し、市民と行政の協働によるまちづくりを推進してきましたが、制定から 10 年以上が経過したことから、これまでの制度運用の実績や社会環境の変化等を踏まえて、現在、以下の 3 つの取組を並行して進めています。

今年度「令和」元年度には、この取組自体も、市民の皆様との「協働」で進めたいと考えています。新たな時代にふさわしい、これからの柏市の「協働」を是非一緒に考えていきましょう。

1. 協働の指針の見直し

協働の指針のうち、指針の目的や協働の基本理念は変わりませんが、協働の現状と課題やさらなる推進に関する事項など一部の記載について見直しを行います。

2. わかりやすい協働冊子の作成

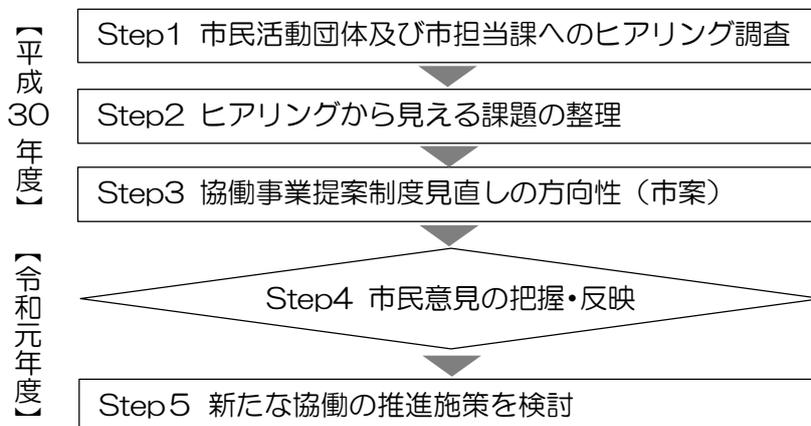
協働の指針の見直しに合わせて、「協働によるまちづくり」をわかりやすく市民の皆様が発信するための、イメージ図やイラストを効果的に挿入した、わかりやすい冊子を作成します。

3. 新たな協働推進施策の検討

平成 17 年度から「協働によるまちづくり」の中心的な制度として運用してきましたが、近年、応募件数や成案件数が減少してきていることから、平成 30 年度から募集を中止し、本制度自体やその運用方法等について見直しを行っています。

平成 30 年度には、本制度の応募団体（成案化しなかった団体含め 9 団体）及び当該事業の市の担当課（6 課）を対象にヒアリングを実施し、制度見直しの方向性について検討を行いました。

引き続き、令和元年度には、市民の皆様にご意見を伺いながら、新たな協働の推進施策を検討していきたいと考えています。



柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽっ？」を活用してみませんか？

立ち上げ間もない団体やベテラン団体など、活動歴に関係なく、私たち NPO 活動をしている市民公益活動団体は、イベント周知・会員募集など、活動を継続するための悩みは尽きません。

それら悩みの解決策・キーワードは「情報発信」です。活動主旨や日頃の活動報告を外部へ発信することで、イベント参加者や会の賛同者が増えるかもしれません。これを機に、柏市民公益活動情報サイトを活用してみませんか？ 当サイトでは、各団体のみなさん独自にイベント情報や会員募集、活動報告などの掲載が可能です（※IDの取得が必要）。

また、WEB会員の登録をすると、市民活動サポートコーナーから月一回発行するメールマガジンが届きます。市民活動講座や市民活動交流サロン開催のお知らせを中心に情報を配信します、メールマガジン登録もご検討ください。



※WEB 会員の登録方法は、
右記 QR コードから。



「会員規約へ同意する」→「新規会員登録（個人の情報を入力）」へ。本メールマガジンの登録はどなたでもできます！

編集・発行

2019年4月発行

パレット柏 市民活動サポートコーナー

及川愛二 / 鬼山恵子 / 砂原成治 / 松清智洋

〒277-0005 柏市柏1-7-1

DayOne タワー3階

TEL 04-7163-1143 / FAX 04-7163-1147

shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

http://kashiwanpo.genki365.net/

窓口開設時間

9:30~17:45 年末年始休館

(※パレット柏の開館時間は 8:30~21:30)

編集後記

長かった冬も終わり、ようやく春がやってきました♪と言っても、今年は3月になっても寒い日が続き、なかなか冬用のコートが手放せない毎日でした。皆さん、いかがお過ごしでしたか？私はこの冬、数年ぶりに風邪を引いてしまい、病院へ。仕事を欠勤することはありませんでしたが、丸々一週間ほどゴホゴホとマスク着用の生活でした。

さあ、新年度の始まりです！市民活動サポートコーナーは毎年恒例の柏市民活動フェスタ（5月）を皮切りに、今年度も市民活動講座や市民活動交流サロンなど、あらゆる事業を催しますので、乞うご期待ください。健康に留意し、これからも元気いっぱい過ごしていきましょう。今年度も引き続きどうぞよろしくお祈りいたします！（鬼山恵子）